2018 年度　ＦＤ活動報告

工学域

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要
・工学域教育運営委員が主体となり、工学域全体の FD 活動を実施している。 ・各課程では、さらに、授業アンケート、オフィスアワーの設定、ピア授業参観、実験・講義科目別情報交換、教育会議などを定期的に実施し、学習成果についての自己点検・評価と、教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。

２　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
7 月 5 日	安全管理講演会「ノンテクニカルスキルと再現力ーこれからの安全方法論」	講演会	2 名
9 月 26 日	第 2 回工学全体 FD セミナー「学生を授業に巻き込むための“発問法”」	セミナー・ワークショップ	130 名
12 月 18 日	大阪府立大学 FD 講演会「大学改革と内部質保証ー芝浦工業大学の取り組みー」	セミナー・ワークショップ	60 名
3 月 6 日	工学研究科・工学域 FD 委員会「平成 30 年度内部質保証への取り組み」	報告会	20 名

３　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
工学域教育運営委員会	工学域全体の FD 活動の企画、実施および情報交換	10 回	20 名
情報工学 FD 会議	教室会議	9 回	19 名
電気電子システム工学FD会議 課程教育委員会 実験委員会	教育改革会議 課程の教育全般 学生実験関連	11 回 11 回 3 回	17 名 5 名 13 名
数学 FD ミーティング	数学系全体で、成績分布や講義内容・試験の範囲などについて検討する	2 回	24 名
電子物理工学 FD 会議	教室会議	11 回	32 名
応用化学 FD 会議	講義科目関連会議：23 回 演習科目関連会議：7 回 学生実験科目関連会議：9 回 教室会議：2 回	41 回	28 名
化学工学 FD 会議	教室会議：11 回	11 回	15 名
マテリアル工学 FD 会議	担当者会議：3 回 カリキュラム会議：2 回	17 回	20 名

	FD 会議（教室会議）：2 回 実験担当者会議：10 回		
航空宇宙工学 FD 会議	教室会議：12 回	12 回	12 名
海洋システム工学FD会議	FD 会議 11 回 外部評価委員会：1 回 カリキュラム会議：2 回	14 回	学内 12 名 学外 13 名
機械工学 FD 会議 内部質保証会議	教育点検・学生生活指導関連会議：11 回 学生実験科目関連会議：6 回 PDCA 等の検討会議：1 回	17 回 1 回	27 名 4 名

４　ＦＤ活動への各教員の参加状況

※　前項のセミナー・委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。

教員数（実数）	145 人　／　177 人中（**工学域**）

５　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	23	18	・年度当初にピア授業参観の実施計画を立て、年度末にその結果を報告している。（電シス） ・カリキュラム改善のため，数人の教員による指定科目のピア講義参観を行った。（海洋）
後期	20	15	
年度合計	43	33	

６　その他取り組みの具体的実施状況

・全課程において、FD に関する講演会などを聴講し、課程内の FD 活動に役立てている。
・電気電子システム工学課程では、課程独自の授業アンケートを行い、授業改善に役立てるとともに、各教員のオフィスアワーの時間帯およびオフィスアワー来室数を調査して、学生指導に役立てている。また、実験の優秀教員の選出および表彰を実施している。
・数理システム課程では、講義開講期間中、B3 棟に数学質問受付室を設け、数学の全科目について、学生からの質問に答えるために、数学系の教員を配置している。
・化学工学課程では、従来より継続して、学域の講義・演習の科目において独自の授業アンケートを実施し、講義および演習の授業改善を行っている。
・マテリアル工学課程では、マテリアル工学実験 I、II の実験内容の見直しを実施した。
・航空宇宙工学課程では、編入学試験問題作成委員会を組織し、各年度の試験問題について検討している。
・海洋システム工学課程では，AO 入試の実施と入試制度に対する評価作業を行った。また，FD における PDCA サイクル，カリキュラムマップの見直しを行った。「総合演習」，「基礎演習」に関して，点検・評価を行った。次年度に向けて科目内容の見直し・整理を行った。また，卒業研究におけるルーブリックの作成に取り組んだ。外部評価委員会を開催し，アンケートによる意見徴収を行い，その対策を検討した。内部質保証に関する情報共有の観点から，他部局に対して JABEE 受審に関する講演を行った。

2018 年度　ＦＤ活動報告

工学研究科

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要
・工学研究科教育運営委員が主体となり、工学研究科全体の FD 活動を実施している。 ・カリキュラムの改善に関する情報共有を行うとともに、各分野での FD 活動に役立てている。

２　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
9 月 26 日	第 2 回工学全体 FD セミナー「学生を授業に巻き込むための“発問法”」	セミナー・ワークショップ	130 名
12 月 18 日	大阪府立大学 FD 講演会「大学改革と内部質保証－芝浦工業大学の取り組み－」	セミナー・ワークショップ	60 名
3 月 6 日	工学研究科・工学域 FD 委員会「平成 30 年度内部質保証への取り組み」	報告会	20 名

３　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
工学研究科教育運営委員会	工学研究科全体の FD 活動の企画、実施および情報交換	10 回	19 名
機械工学 FD 会議	機械工学 FD 会議	11 回	27 名
機械工学内部質保証会議	PDCA 等の検討会議：1 回	1 回	4 名
航空宇宙工学 FD 会議	教室会議：12 回	12 回	12 名
海洋システム工学 FD 会議	FD 会議：11 回、外部評価委員会：1 回、カリキュラム会議：2 回	14 回	学内 12 名 外部 13 名
電子物理工学 FD 会議	教室会議：11 回	11 回	32 名
電気情報システム工学 FD 会議	教育改革会議	11 回	17 名
電気情報システム工学教育委員会	分野の教育全般	11 回	5 名
電気情報システム工学実験委員会	分野の実験科目全般	3 回	13 名
知能情報工学教室会議	教育運営委員会からの依頼事項の検討	9 回	19 名
応用化学 FD 会議	講義科目関連会議：4 回、教室会議：2 回	6 回	28 名

化学工学 FD 会議	教室会議：11 回	11 回	15 名
マテリアル工学 FD 会議	担当者会議 3 回・カリキュラム会議 2 回・FD 会議（教室会議）3 回	8 回	20 名
量子放射線工学 FD 会議	分野教員会議、FD 意見交換	6 回	13 名

４　ＦＤ活動への各教員の参加状況

※　前項のセミナー・委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。

教員数（実数）	188 人　／　194 人中

５　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	8	9	
後期	10	6	
年度合計	18	15	

６　その他取り組みの具体的実施状況

・全分野において、FD に関する講演会などを聴講し、分野内の FD 活動に役立てている。

・大学院の講義科目に関して前期・後期に独自のアンケートを実施
　回答数：前期 1638 名（60 科目）、後期 629 名（53 科目）

・航空宇宙工学分野では、アンケート、オフィスアワーの設定、実験・講義科目別情報交換、FD 会議などを定期的に実施し、学習成果についての自己点検・評価と、教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。また、大学院入試委員会（専門基礎／専門科目作成委員会）を組織し、各年度の大学院入試問題および入試全般に関して検討している。

・海洋システム工学分野では，修士論文の評価に関わる，特別演習・特別研究科目の評価エビデンスを定義し，それを学生に周知した。

・電気情報システム工学分野では、実験科目の優秀教員の選出および表彰を行っている。

・電気情報システム工学分野では、大学院入試に関して、分野の入試委員会の下に、各入試科目に関する問題作成・点検委員会を設定して、各年度の入試問題の作成点検および入試全般について審議している。

・応用化学工学分野では、オフィスアワーの設定、講義科目別の情報交換会、教育会議などを定期的に実施し、学習成果についての自己点検・評価と、教育の質の改善・向上に関する取り組みを個別に実施している。

・量子放射線工学分野では大学院講義に関する FD 活動について教員相互の意見交換、相談等を主に分野教員会議の場にて不定期に行っている。また放射線教育関連の学外催し等の機会を通じて、現役中・高校教師等との教育に関する意見交換、動向調査等を行い、FD 向上へ役立てている。

・量子放射線工学分野では、放射線施設に見学に訪れる 100 名を越える高校生や中・高教員から教育の動向を伺い知ることができ、その成果を講演会、出張講義等における教育活動の質的向上に役立てている。